

群馬県立みらい共創中学校 学校評価一覧表（令和 6 年度版）

羅針盤							方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
		評価対象	評価項目	具体的数値項目	具体的数値目標 数値目標A+B%			自己評価	外部アンケート	総合		
					教職員	生徒						
安心	年齢や国籍に関係なく安心して学べる	2生徒指導	教師と生徒の共感的な人間関係づくりを行い、悩みや不安を相談しやすい環境づくりに努めている。	「困ったときに先生たちが相談にのってくれる」と答えている生徒が80％以上である。	90%	80%	・ 日常の観察やチャンス相談、定期教育相談を通して生徒理解に努めるとともに、SC、養護教諭と連携しながら生徒の多面的理解と支援を行う。 ・ 生徒の相談は共感的理解に基づき傾聴する。	A	A	A	・ 定期的な教育相談を行い指導に生かしたり、あいさつなどの基本的な生活習慣について日常的に指導したりするなど、生徒一人一人に寄り添った教育活動を行うことで、95％以上の生徒が「安心して学校に通い、学ぶことができる」と答えている。 ・ 随時入学受入れにより、年間を通じて生徒が入学してくることから、全校生徒がよりよい集団生活を送るために、継続して支援していく必要がある。	・ 日本文化の中での常識を無意識に指導してしまうことがあるが、生徒の実態に応じ、丁寧に指導していく必要がある。一方的な主張ではなく、互いに折り合いをつけることが大切である。
			生徒一人一人との関わりを大切にし、生徒に寄り添った学校作りを行っている。	「安全に学校生活を送ることができている」と答えている生徒が80％以上である。	90%	80%	・ 様々な活動の過程で、生徒一人一人のよさや可能性を積極的に認めるとともに、生徒の変容をフィードバックしていく。 ・ いじめの未然防止、早期発見・対応を行う。	A	A	A		
			あいさつなどの基本的な生活習慣や適切な言葉遣いを身に付けられるよう、適切な指導に努めている。	「友達・先生にあいさつや返事をしている」と答えている生徒が80％以上いる。	90%	80%	・ 教育活動を通して基本的な生活習慣や適切な言葉遣いを指導する。 ・ 教職員から進んで笑顔であいさつを行う。	A	A	A		
			集団生活で秩序を保ち、安心な生活ができるよう規範意識について適切な指導に努めている。	「きまりや約束を守って生活している」と答えている生徒が80％以上いる。	90%	80%	・ 多様な背景をもつ集団の一員として規範意識に基づき行動できるよう、特別活動「対話の時間」や各教科の協働学習をはじめ教育活動全体を通して適切に指導する。	B	A	B		
			学校への連絡に対して丁寧な対応に努めている。	「学校に連絡したときに丁寧に受け答えをしてきている」と答えている生徒が80％いる。	90%	80%	・ 外部からの連絡・問合せに対して親切・丁寧に対応する。	A	A	A		
未来	思いや願いを叶える力を育てる	1教育課程・学習指導	学校生活が充実している。	「学校で学ぶことは楽しい」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 実生活との関連を図った問題解決的な学習過程による授業作りを行う。 ・ 本物に触れる喜びを味わえる授業作り、自分の成長が実感できる授業作りを行う。	A	A	A	・ 生徒の実態に応じて、教材を工夫したり、交流活動を意図的に取り入れたりすることで、100％の生徒が「学校で学ぶことが楽しい」と答えている。 ・ 電子黒板やタブレット端末、実物投影機などのICT機器を活用し、言葉や文字だけでなく視覚的に学習内容の理解を促しているが、生徒がより主体的に活用できるよう授業改善を進める必要がある。 ・ 自分の夢や願いについてまだ十分考えられていない生徒が見受けられることから、教育相談等で生徒の思いや願いを丁寧に聞き取るとともに、キャリア教育の充実を図る必要がある。	・ 外国人が多く働いている地域の企業の方に講演をしていただくことで、キャリア教育を充実させることにつながると思う。
			ICTを活用した授業作りに取り組んでいる。	「授業では大型テレビやタブレットを使って学習をしている」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 主体的な学習環境を保障するために、ICT端末等を活用した授業作りを行う。	B	A	B		
			一人一人に寄り添う個に応じた授業を行っている。	「学校の授業は分かりやすい」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 生徒の実態把握を的確に行い、指導方法や指導体制の工夫改善により個に応じた授業作りを行う。	A	B	B		
			個に応じた日本語指導を行っている。	「日本語の授業は分かりやすい」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 日本語指導を必要とする生徒の日本語能力の実態を把握し、個に応じた指導の充実を図る。	A	A	A		
		3キャリア教育	生徒が自らの夢や希望について考えられるようキャリア教育の実践を行っている。	「自分の夢や願いについて考えている」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにするとともに、学びにおける自己肯定感を高める。 ・ 様々な活動を通して、自分の思いや願いを表現する機会を設定する。	A	B	B		
共創	いろいろな人と共に学ぶ	1教育課程・学習指導	多様な生徒が協働的に学び合う授業作りを行っている。	「他の生徒と一緒に話したり活動したりしながら学習している」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 多様な生徒が協働的に学び合う学習過程を重視した授業作りを行う。	A	A	A	・ 授業の中で、生徒間の交流が促進されるよう、意図的に機会を設けていることで、協働的に学んでいる意識が高まり、学習内容の理解が深まっている。 ・ 外部人材の活用が不十分であったので、今後、時間をかけて開拓し、効果的に教育活動に取り入れられるようにしていきたい。 ・ 外国籍の生徒が多いことから、学校からの情報発信については、母語支援員に協力を得ながら、できるだけ多言語で対応できるようにしたい。	・ 地域の行事に参加していただくことで、地域とのつながりができ、日本文化を学ぶことができるとともに、地域の方も本校の取組を理解するきっかけになる。 ・ 学校紹介のパンフレットがあると周知につながる。外国人に対応する窓口に置いたり、民生委員の会議で紹介したりすることができる。
		8家庭地域連携	対人関係や社会生活を営むために必要な技能が身に付くよう教育活動を行っている。	「他の生徒と一緒にいろいろな活動することは楽しい」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 自己や集団の在り方について考えを深め、様々な活動に自主的・実践的にかかわろうとする態度を育てるために「ソーシャルスキルトレーニング」や集団活動等を行う。	A	A	A		
			企業関係者や地域住民、関係機関など外部人材を教育活動に活用している。	「学校で学んだことが日々の生活に役立っている」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 企業や地域の人材を教育活動に活用し、最先端の知識や技術に触れさせるとともに、多様な人々と共生する社会生活における生き方などを考えさせる。	D	A	C		
			生徒や保護者等へ分かりやすい情報発信に努めている。	「学校のプリントや電子メール、HPは分かりやすい」と答えている生徒が80％以上いる。	80%	80%	・ 多様な生徒・保護者等への情報発信は、分かりやすさ伝わりやすさを重視する。 ・ やさしい日本語の表現やICT機器を活用する。	A	B	B		
		組織運営学びを支える組織力	6組織運営	学校教育目標や学校経営方針を理解し、その実現に向け、管理職・教職員が一体となるよう努力している。	「学校教育目標や学校経営方針を理解し、その実現に向け、管理職・教職員が一体となるよう努力している」と答えている教師が90％以上いる。	90%		・ 学校経営方針を踏まえた校長のリーダーシップの下、全教職員によるPDCAの組織マネジメントを行う。	B			
	日々の教育活動の課題を管理職・教職員間で共有し、連携協力できるように努めている。			「日々の教育活動の課題を管理職・教職員間で共有し、連携協力できるように努めている」と答えている教師が90％以上いる。	90%		・ 報告・連絡・相談を密に行う。 ・ 課題を共有しやすい職場環境・ICT環境を作る。 ・ 風通しのよい職場作りを行う。	C		C		
	働き方改革の視点から、組織で効率よく校務を行っている。			「働き方改革の視点から組織で効率よく校務を行っている」と答えている教師が90％以上いる。	90%		・ ICTの積極的な活用による情報の共有化や会議時間の短縮、ペーパーレス化等の校務の効率化を行う。	B		B		
	個人情報及び各種文書・データなどを各分掌で適切に管理している。			「個人情報及び各種文書・データなどを適切に管理している」と答えている教師が90％以上いる。	90%		・ 個人情報保護法の基本について理解する。 ・ みらい共創中のデータ管理方針を全職員が理解し、徹底を図る。	A		A		
	7研修		自校の喫緊の教育課題の解決に向けて校内研修を計画的に実施している。	「自校の喫緊の教育課題の解決に向けた校内研修を計画的に実施している」と答えている教師が90％以上いる。	90%		・ 教育活動を通して見えてきた課題や今日の教育課題を集約し、計画的に研修を実施する。	C		C		

